

手続き上の保護措置に関する通知

早期介入 (0～2年) 及び 幼児特殊教育 (3～5歳) のための親の権利



Office of Student Services
255 Capitol Street NE
Salem, Oregon 97310

この書類では、IDEAパートCの早期介入(EI)とIDEAパートBの幼児特殊教育(ECSE)の手続き上の保護手段を示します。EIの場合、要件は2011年10月に発効したIDEA規制に準拠しています。ECSEの場合、要件は米国教育省のモデル手続き型セーフガード通知(U. S. Department of Education's Model Procedural Safeguards Notice) (2009年6月)に準拠しています。必要に応じて、Oregon州に関する具体的な情報が提供されます。

この書類に関する質問やコメントは、次の宛先にご連絡ください。

Office of Student Services
Oregon Department of Education
255 Capitol Street
Salem, OR 97310
(503) 947-5782

このドキュメントはオンラインにて以下で入手できます。:

<http://www.oregon.gov/ode/rules-and-policies/Pages/Procedural-Safeguards.aspx>

State Board of Education, (州教育委員会) の方針であり、Oregon Department of Education (オレゴン州教育省) の優先事項では、人種、肌の色、宗教、性別、婚姻状況、性的指向、出身国、年齢、または障害を理由とする差別や嫌がらせを教育プログラム、活動、または雇用において行ってはいけません。機会均等と無差別について質問がある方は、オレゴン州教育省に連絡する必要があります。Oregon Department of Education 255

障害のある子供

この小冊子の情報は、個人障害者教育法、Individual with Disabilities Education Act (IDEA) のパートCおよびBに基づいて早期介入、Early Intervention (EI)または幼児特殊教育 Early Childhood Special Education (ECSE)の対象となる、または資格がある可能性のある子供の親を対象としています。すべての障害児がIDEAに基づく早期介入または幼児特殊教育サービスの対象となるわけではありません。一部の子供は、主要な生活活動に影響を与える障害を持っている可能性がありますが、IDEAに基づく障害のカテゴリーの1つの資格要件を満たしていません。これらの子供は、section 504 of the Rehabilitation Act of 1973,(1973年のリハビリテーション法のセクション504)やAmerican with Disabilities Education Act(ADA) (障害を持つアメリカ人教育法)など、さまざまな連邦法によって保護される場合があります。第504条のみに基づいて保護される個人の権利は、この小冊子に記載されている手続き上の保護措置といくつかの点で類似しており、いくつかの点で異なります。セクション504の詳細については、EI / ECSEプログラムまたはODE公民権スペシャリストにお問い合わせください。

目次

イントロダクション	1
親の参加	2
教育の記録.....	3
セーフガード.....	6
親の承諾.....	7
事前の書面による通知.....	10
評価及び再評価.....	12
独自教育評価-ECSEのみ.....	13
意見の相違の解決.....	14
私立学校に通学する子供-ECSEのみ.....	24
暫定的な代替教育環境における規律と配置-ECSEのみ.....	26
リソース.....	31

イントロダクション（紹介）

この小冊子は誰のためのものですか？

この小冊子は、障害児の出生から幼稚園までの親に、手続き的保護措置とも呼ばれる教育権の概要を提供します。この小冊子は、親と代理親のための *手続き上の保護措置* の通知です。連邦法では、幼児にはめったに発生しないものも含め、すべての手続き上の保護手段について通知する必要があります。

この小冊子のコピーはいつ入手する必要がありますか？

法律では、この *手続き上の保護措置の通知* は以下の場合にあなたに与えられなければならないとされています：

- 一年に一度；
- あなたがコピーを請求するとき；
- 早期介入 (EI) または幼児特殊教育 (ECSE) の評価にあなたの子供が初めて紹介された時、あるいはあなたが評価をリクエストした場合、
- 学年度の最初の苦情または適正手続きの請求を受け取ったとき。そして
- ECSE の場合、あなたの子供に関する懲罰処分の決定が配置の変更を必要とする場合

この小冊子は何を教えてくださいか？

この小冊子では、早期介入と幼児期の特殊教育におけるあなたの権利について説明します。この小冊子では、IFSP、サービス、プログラムに関する詳細情報は提供しません。これらの分野に関する詳細情報は、子供のサービスコーディネーター、教師、プログラム担当者に相談するか、Oregon州教育省 (ODE) の Web サイトおよびこの小冊子の後ろに記載されているその他のリソースから入手できます。

この小冊子では、「公的機関」という用語を使用して、学区、EI / ECSE プログラム、または子供の EI / ECSE サービスのいくつかの側面を担当するその他の公的機関を意味します。

この小冊子の権利はどこから来るのですか？

個人障害者教育法 (IDEA) は、州が適格な障害のある幼児に EI および ECSE サービスを提供することを義務付ける連邦特殊教育法です。

EI と ECSE の違いは何ですか？

早期介入 (EI) とは、出生から 3 歳までの障害のある子どものためのサービスを意味し、子どもの発達上のニーズと子どもの発達の促進に関連する家族のニーズを満たすように設計されています。EI サービスは

、子供がより専門的な設定を必要としない限り、障害のない子供にとっての自然または典型的な設定で提供されます。これらのサービスは、子供のIFSPに記載されています。

幼児特殊教育(ECSE)とは、3歳から公共の学校に上げられる年齢までの障害児の固有のニーズを満たすためのサービスを意味します。

ECSEサービスの対象となる子どもは、無料の適切な公教育(FAPE)を受けなければいけません。FAPEとは、子供が教育の恩恵を受けるために必要な特殊教育および関連サービスを意味します。これらのサービスは、子供のIFSPに記載されています。法律によると、チームは子供を「最も制限の少ない環境」に配置する必要があります。これは、あなたの子供があなたの子供のIFSPに基づいて、あなたの子供のニーズを満たす最も典型的な種類のプログラムに配置されなければならないことを意味します。

IFSPとは何ですか？

IFSPは個別化された家族サービスプランを表します。あなた、あなたの子供の教師、および他の人々を含むチームは、あなたの子供が障害を持っているかどうかを決定し、法律にある特殊教育の基準を満たしているかどうかを判断した後、これらのサービスを設計します。IFSPはあなたの子供に提供されるサービスを記述します。IFSPチームには、あなた、あなたの子供の先生、そして他の人が含まれます。IFSPチームは、子供の評価情報を確認し、子供の測定可能な目標を特定し、サービスを決定し、子供がそれらの目標を達成するために必要なサポートを行います。IFSPに関する詳細情報は、子供のサービスコーディネーター、教師、またはその他のプログラムスタッフから入手できます。

詳細情報はどこで入手できますか？

ローカルEI / ECSEプログラムは、詳細情報のための最初のストップです。プログラムには、子供のサービスコーディネーターを含め、子供向けのサービスに関する質問に答えることができる人が多数います。あなたの子供と一緒に働く他のサービスプロバイダーもあなたにとって役立つかもしれません。その他のリソースは、この小冊子の最後にリストされています。

親の参加

誰が「親」と見なされますか？

IDEAの下では、親は:

- 子供の生物学的または養親。
- 子供の里親。
- 法定後見人(州の機関を除く)または子供の福祉に法的責任を負うその他の人。
- 子供が同居している生物学的または養親(祖父母、継親、またはその他の親戚を含む)の代わりに親として行動する個人。又は
- 公的機関または少年裁判所によって任命された代理親。

- 複数の人が親として行動する資格があり、生物学的親または養親が親として行動しようとしている場合、生物学的親または養親はIDEAに基づく親であると推定されます。
しかし：
- この規則は、生物学的親または養親が子供のための教育的決定を下す権限を法的に持っていない場合には適用されません。
- 誰が子供の親として行動できるか、または子供に代わって教育上の決定をくだすことができるかを記載した裁判所命令または司法判決がある場合、その人が特殊教育目的上の親になります。

私には、子供のEI / ECSEサービスに関する決定に参加する権利がありますか？

はい、あなたの参加は貴重です。あなたには、子供の特別なニーズ、評価、EI / ECSEサービス、子供がサービスを受ける場所(配置)、および子供のEI / ECSEサービスに関連するその他の事項に関する会議に参加する権利があります。これには、子供のIFSPを開発するための会議に参加する権利が含まれます。

代理親とは何ですか、いつ必要ですか？

代理親とは、親を特定または所在の特定ができない場合、または子供が裁判所の被後見人である場合に、特定の状況で障害のある子供のための教育上の決定を下すように割り当てられた人です。各 EI/ECSE プログラムには、子に代理親が必要かどうかを判別し、代理親を子に割り当てるための方式があります。代理として選ばれた者は、(1)自分が代表する子どもの利益と相反する利害関係を有してはならず、(2)子どもの適切な代表を確保する知識および技能を有していなければならない。代理親はIFSP会議に親として参加し、この小冊子に記載されているすべての権利を持っています。

教育の記録

子供の教育記録を見ても良いですか？

はい。家族教育の権利とプライバシー法(FERPA)とIDEAの2つの法律は、子供のすべての教育記録を見る権利を与えています。もし記録を閲覧したいときは、子供の教師、サービスコーディネーター、またはプログラム管理者にお尋ねください。

あなたがあなたの子供の記録の閲覧を申請するときには、あなたの子供のプログラムは以下を手配しなければなりません:

- 不必要な遅延がなく手配する。
- あなたの子供のIFSPについての会議の前に。
- あなたの子供に関連する適正手続きの聴聞会(決議会議または懲罰に関する会議を含む)の前に。
そして、いずれにせよ、
- EIの場合:リクエストから10暦日以内。
- ECSEの場合:リクエストから45暦日以内。

通常、教育記録の閲覧申請はプログラム管理者に対して行われます。

教育記録を検査および確認する権利には、次のものが含まれます。

1. 記録の説明と解釈に対するEI / ECSEプログラムからの回答に対するあなたの権利。
2. EI / ECSEプログラムに記録のコピーの提供を要求する権利は、コピーを受け取らない限り記録を効果的に検査および確認できない場合です。そして、
3. 代理人に記録を検査および確認させる権利。

EI / ECSEプログラムは以下の権限がないことを通知されない限り子供に関連する記録を検査および確認する権限があると想定する場合があります。それは後見人、または別居と離婚などの問題を管理する適用されるOregon州法によってあなたがその権限を持たないと判断された場合を除きます。

各EI / ECSEプログラムは、当事者の名前、アクセスが与えられた日付、および当事者が記録の使用を許可された目的を含む、IDEAの下で収集、維持、または使用された教育記録へのアクセスを取得した当事者の記録を保持する必要があります(親および参加機関の権限のある従業員によるアクセスを除く)。

教育記録に複数の子供に関する情報が含まれている場合、それらの子供の親は、子供に関する情報のみを検査および確認する権利、またはその特定の情報を通知される権利を有します。

要求に応じて、EI / ECSEプログラムは、機関によって収集、維持、または使用される教育記録の種類と場所のリストを提供する必要があります。

EI / ECSEプログラムは、IDEAに基づいて作成された記録のコピーに対して、それらの記録を検査および確認する権利の行使を効果的に妨げない場合、料金を請求する場合があります。EI / ECSEプログラムは、IDEAの下で情報を検索または取得するために料金を請求しない場合があります。

ただし、EIの場合、EI / ECSEプログラムは無料で以下を提供する必要があります。

1. 子供の早期介入(EI)記録の最初のコピー。
2. 各評価のコピー、あなたの子供の評価、家族評価、および各 IFSP後にできるだけ早急にコピーを提供する。

子供の記録を修正したい場合はどうすればよいですか？

EIの場合:子供または親としてのご自身に関する教育記録の情報が不正確、誤解を招く、または子供のプライバシーまたはその他の権利を侵害していると思われる場合は、情報を保持するEI / ECSEプログラムに情報の変更を依頼できます。

ECSEの場合:子供に関する教育記録の情報が不正確、誤解を招く、または子供のプライバシーまたはその他の権利を侵害していると思われる場合は、情報を保持するEI / ECSEプログラムに情報の変更を依頼できます。

EI/ECSEプログラムは、あなたのリクエストを受け取ってから合理的な期間内に、あなたのリクエストに従って情報を変更するかどうかを決定する必要があります。EI / ECSEプログラムがあなたがリクエストしたように情報を変更することを拒否した場合、それは拒否と聴聞会の権利をあなたに通知しなければなりません。

EI / ECSEプログラムは、要求に応じて、子供に関する教育記録の情報に異議を唱えるヒアリングの機会を提供し、それが不正確、誤解を招く、またはその他の方法で子供のプライバシーまたはそ

の他の権利を侵害していないことを確認する必要があります。

教育記録の情報に異議を唱えるための聴聞会は、家族教育の権利とプライバシー法(FERPA)に基づくそのような聴聞会の手順に従って実施する必要があります。

聴聞の結果、EI / ECSEプログラムが、情報が不正確、誤解を招く、またはその他の方法で子供のプライバシーまたはその他の権利を侵害していると判断した場合、情報を変更し、書面で通知する必要があります。

ヒアリングの結果、EI/ECSEプログラムが、情報が不正確、誤解を招く、または子どものプライバシーまたはその他の権利を侵害していないと判断した場合、EI/ECSEプログラムは、あなたが情報についてコメントする声明、またはEI/ECSEプログラムの決定に同意しない理由を提供する声明を保持する子供の記録に記載する権利を通知する必要があります。

説明は次の条件を満たしている必要があります。

1. 記録または争われた部分がEI / ECSEプログラムによって維持されている限り、EI / ECSEプログラムによって子供の記録の一部として維持されます。そして、
2. EI / ECSEプログラムがあなたの子供または挑戦された部分の記録をいずれかの当事者に開示する場合、説明はその当事者にも開示されなければなりません。

「個人を特定できる」情報とは何ですか？

個人を特定できる情報は、FERPA、34 CFR 99.1から99.38で定義されており、早期介入や幼児期の特殊教育の記録など、障害のある子供の記録を保護します。IDEAは、34 CFR Part 99、FERPAにある「教育記録」の定義も採用しています。EIにとって、教育記録という用語は早期介入記録を意味します。

個人を特定できる情報には、次のような情報が含まれます。

- (a) あなたの子供の名前、親としてのあなたの名前、または他の家族の名前。
- (b) 子供の住所
- (c) 子供の社会保障番号や学生番号などの個人識別子。
- (d) 合理的な確実性をもって子供を特定することを可能にする個人的特徴またはその他の情報のリスト。
- (e) その他の情報(子供の生年月日、出生地、母親の旧姓など)。

私の子供の教育記録は機密ですか？

はい、家族教育の権利とプライバシー法(FERPA)とIDEAは、子供の教育記録と個人を特定できる情報の機密性も保護します。

各EI / ECSEプログラムは、収集、保管、開示、および破棄の段階で個人を特定できる情報の機密性を保護する必要があります。

各参加機関の1人の職員は、個人を特定できる情報の機密性を確保する責任を負う必要があります。

個人を特定できる情報を収集または使用するすべての人は、IDEAおよびFERPAに基づく機密保持に関するオレゴン州のポリシーと手順に関するトレーニングまたは指示を受ける必要があります。

各EI / ECSEプログラムは、公の検査のために、個人を特定できる情報にアクセスできる可能性のある機関内の従業員の名前と役職の最新のリストを維持する必要があります。

情報が教育記録に含まれておらず、家族教育の権利とプライバシー法(FERPA)に基づいて親の同意なしに開示が許可されていない限り、個人を特定できる情報が子供のEI / ECSEプログラムの職員以外の当事者に開示される前に、書面による同意を与える必要があります。

以下に定める状況を除き、IDEAの要件を満たす目的で、個人を特定できる情報が参加機関の職員に公開される前に、あなたの同意は必要ありません。

ECSEの場合:居住地と同じ学区に所在しない私立学校に子供を登録している場合、私立学校が所在する学区の職員とあなたが居住する学区の職員の間で子供に関する個人を特定できる情報が公開される前に、同意を得る必要があります。

セーフガード

一般に、FERPAおよびEIの場合はIDEAの下で親の同意なしに開示が許可されていない限り、子供のEI / ECSEプログラムの職員以外の方が子供の教育記録を閲覧することに書面による同意を与える必要があります。

一般的に、FERPAは、あなたの子供の記録があなたの同意なしに公開される可能性があることを許可します。

- 「正当な教育的関心」を有する教師およびその他のプログラムスタッフ。
- 別のプログラム、地区、または教育機関(その地区または機関に転校する場合、またはその地区または教育機関からサービスを受ける場合)。

子供の記録は、家族教育の権利とプライバシーに関する法律(FERPA)に記載されているように、限られた状況において、あなたの同意なしに公開されることもあります。たとえば、裁判所命令に従うため、または健康または安全上の緊急事態において、書面による同意は必要ありません。子供の名前、住所、活動などの一部の情報は、もし、まだあなたがディレクトリ情報の公開を拒否する書類に署名していない場合、「ディレクトリ情報」として公開される場合があります。プログラムの完全な記録ポリシーのコピーについては、プログラムにお問い合わせください。

EI / ECSEプログラムは、収集、維持、または使用された個人を特定できる情報が、EI / ECSEサービスを提供するために不要になった場合、または適用される連邦法および州法の下で維持する必要がなくなった場合に通知する必要があります。

情報は、あなたのリクエストに応じて破棄する必要があります。(破棄とは、情報が個人を特定できなくなるように、情報から個人識別子を物理的に破壊または削除することです。)

ただし、子供の名前、住所、電話番号、EI / ECSEへの参加の永続的な記録は、時間制限なしに維持される場合があります。EI の場合、永続レコードには、サービス・コーディネーターおよび EI プロバイダーの名前、出口データ (終了時の年と経過時間、および終了時に入力されたプログラムを含む) も含まれる場合があります。

親の同意

「同意」とはどのような意味ですか？

同意とは:

1. あなたは、あなたが同意している行動に関するすべての情報を母国語または他のコミュニケーションモード(手話、点字、口頭でのコミュニケーションなど)で完全に知らされています。
2. あなたはその行動を理解し、書面で同意し、同意はその行動を説明し、リリースされる記録(もしあれば)を誰にリストします。そして
3. あなたは、同意があなたの自発的なものであり、いつでも同意を取り消すことができることを理解しています。

私の子供の評価のために私の同意は必要ですか？

はい。公的機関は、あなたの子供を評価または再評価する前に、あなたに書面による通知を行い、書面によるインフォームドコンセントを得る必要があります。公的機関は、使用するテストについて通知する必要があります。

初期評価に対する同意は、ECSEプログラムが子供にECSEサービスの提供を開始することにも同意したことを意味するものではありません。

私の子供を評価するために私の同意が必要な場合に例外はありますか？

はい。(1)評価または再評価の一環として既存の情報を確認する前に、保護者の同意は必要ありません。(2)すべての子供に実施されるテストまたは評価を行うこと(テストを実施する前にすべての子供の両親の同意が必要な場合を除く)、または(3)進行状況を決定するための尺度として子供のIFSPで特定された評価テスト、手順、または機器を実施する。

また、ECSEの場合、公的機関は、あなたの同意を得るための合理的な措置を講じ、あなたが応答しない場合、あなたの書面による同意なしにあなたの子供を再評価することがあります。州の規制では、知能検査や性格検査を行う前に、依然として親の同意が必要です。

子供が評価または再評価されることへの同意を拒否できますか？

はい、子供の評価または再評価に対する同意を拒否することができます。混乱を避けるために、同意を拒否したい場合は、公的機関に書面で通知する必要があります。

ECSEの場合:再評価の評価に同意することを拒否した場合、公的機関は、評価があなたの子供に必要なであると信じる場合、適正手続きの聴聞会を通じてあなたの子供を評価しようとするかもしれま

せん。あなたと公的機関は、あなたの意見の不一致を解決するために調停を試みることに同意する場合があります。初期評価と同様に、ECSEプログラムは、この方法で再評価を追求しない場合、IDEAに基づく義務に違反しません。

評価の同意を取り消すことはできますか？

公的機関に子供の評価または再評価に書面で同意した後、まだ完了していない評価活動についてのみ同意を取り消すことができます。

子供がEIサービスを受けるには私の同意が必要ですか？

はい、プログラムが子供にEIサービスを提供する前に、書面によるインフォームドコンセントを与える必要があります。子供のIFSPに記載されている各EIサービスには、あなたの同意が必要です。サービスを拒否または拒否した場合、そのサービスは提供されません。その他のEIサービスは引き続き提供されます。

子供がECSEサービスを受けるには私の同意が必要ですか？

はい、ECSEは特殊教育プログラムです。プログラムが初めて子供をECSEプログラムに入れる前に、書面によるインフォームドコンセントを与える必要があります。ECSEサービスに同意すると、子供が引き続き学齢期に資格がある場合、学齢期の特殊教育サービスを含むパートB IDEAサービスに参加することに同意したことになります。

ECSEプログラムの子供(つまり、3～21歳の子供)の公的給付および保険(Medicaid, メディケイドなど)の使用に関する同意

ECSEプログラムが初めて公的保険(Medicaid, メディケイドなど)にアクセスする前に、保護者に通知された書面による同意が必要です。この同意には、(a)開示される可能性のある個人を特定できる情報(提供される可能性のあるサービスに関する情報の記録など)を指定する必要があります。(b)開示の目的(例:サービスの請求)。(c)開示が行われる可能性のある機関(例:Medicaid)。同意はまた、公的機関がサービスの支払いのために子供または親の公共の利益または保険にアクセスできることを親が理解し、同意することを明記する必要があります。

学区は、この同意を要求する前、および子供または親の公共の利益に初めてアクセスする前に、書面による通知を提供する必要があります。学区はまた、公共の利益を使用するための同意を得た後、毎年この書面による通知を提供する必要があります。

EI / ECSEサービスに公的または私的な給付または保険を使用するには、私の同意が必要ですか？

あなたの子供のためのEI / ECSEサービスは、あなた、またはあなたの家族に無料で提供されます。ただし、サービスを提供するプログラムでは、EI / ECSEサービスの支払いを支援するために、あなたまたはあなたの子供の公的保険または給付(Medicaid, メディケイドやOregon Health Plan, オレゴンヘルスプランなど)または民間保険に請求するように求められる場合があります。そのためには、プログラムに書面による同意が必要です。子供が3歳以上の場合、必要な同意と通知情報は上記のとおりです。

あなた、またはあなたの子供の公的または私的保険は、あなたの子供が無料で受ける権利があるサ

サービスに対して請求することはできません。:

1. あなたの子供の評価と評価；
2. あなた、またはあなたの子供のためのサービス調整。
3. IFSPの開発、レビュー、評価。

あなたまたは子供の保険がサービスに対して請求されることに同意した場合、プログラムはそれらのサービスに関連する控除額や自己負担額などの費用を支払います。保険金請求に関連する費用に同意できない場合は、「不一致の解決」に記載されているプロセスのいずれかを使用できます。

公的または民間の保険に加入している家族へのサービスに追加費用はかかりません。支払いができない、または公的または民間の保険にアクセスするための同意が拒否されたために、サービスが遅延または拒否されることはありません。

子供がECSEサービスを受けることへの同意を拒否できますか？

はい、あなたは特殊教育へのあなたの子供の最初の配置に対する同意を拒否することができます。混乱を避けるために、同意を拒否したい場合は、書面でプログラムに通知する必要があります。

子供がECSEおよび関連サービスを受け始めた後に同意を取り消す(キャンセル)場合は、書面で行う必要があります。同意の撤回は、同意を与えた後、撤回する前に発生したアクションを否定(元に戻す)するものではありません。さらに、ECSEプログラムは、同意の撤回後に子供がECSEおよび関連サービスを受けたという参照を削除するために、子供の教育記録を修正(変更)する必要はありません。

子供がECSEおよび関連サービスを初めて受けるための同意を提供する要求に応答しない場合、またはそのような同意を拒否するか、後で書面で同意を取り消し(キャンセル)した場合、ECSEおよび関連サービス(あなたの子供のIFSPチームが推奨)があなたの同意なしにあなたの子供に提供されるための合意または裁定を得る目的のために、ECSEプログラムは手続き上の保護手段(つまり、調停、適正手続きの苦情、解決会議、または公平な適正手続きの聴聞会)を使用しないかもしれません。

あなたがあなたの子供が初めてECSEサービスを受けることへの同意を拒否した場合、またはそのような同意の提供の要求に応じない場合、または後で書面で同意を取り消し(キャンセル)し、ECSEプログラムが子供に対して、同意を求めたECSEサービスを提供しない場合、ECSEプログラム:

1. は、あなたの子供にそれらのサービスを提供しなかったためにあなたの子供が無料の適切な公教育(FAPE)を利用できるようにするという要件には違反しません。そして、
2. は、あなたの同意が要求されたECSEサービスのためにIFSP会議を開いたり、あなたの子供のためにIFSPを開発したりする必要はありません。

あなたの子供が最初にECSEおよび関連サービスを提供した後、あなたが書面で同意を取り消し(キャンセル)した場合、ECSEプログラムはそのようなサービスの提供を継続することはできませんが、これらのサービスを中止する前に、事前の書面による通知の見出しに記載されているように、事前に書面で**通知**する必要があります。

州のケアの被後見人である子どもの初期評価のための特別規則

子供が州の被後見人であり、親と同居していない場合、ECSEプログラムは、次の場合に子供が

障害のある子供であるかどうかを判断するための初期評価について親の同意を必要としません。

1. そのための合理的な努力にもかかわらず、ECSEプログラムは子供の親を見つけることができない。
2. 両親の権利が州法に従って終結している。または、
3. 裁判官が教育上の決定を下し、初期評価に同意する権利を親以外の個人に割あてた。

IDEAで使用されている (Word of State) 州の被後見人とは、子供が住んでいる州によって決定されたように、次のとおりである子供を意味します。

1. 里子;
2. 州法の下で州の被後見人と見なされます。または、
3. 公立児童福祉機関の管理下 にあります。

州のワードには、里親を持つ里子は含まれていません。Oregon州では、州の被後見人は、少年裁判所のアクションを通じて、一時的または恒久的にDepartment of Human Services,ヒューマンサービス局の監護下にある、またはヒューマンサービス局に参与している子供です。

その他の同意要件 – ECSE

ECSEプログラムは、初期評価のために親の同意を得るため、初めてECSEサービスを提供するため、再評価するため、および初期評価のために州の被後見人の親を見つけるための合理的な努力の記録を保持しなければなりません。文書には、次のようなこれらの分野でのECSEプログラムの試みの記録を含める必要があります。

1. 発信または試行された電話の詳細な記録とそれらの通話の結果。
2. 両親に送られた通信のコピーと受け取った回答。そして、
3. 親の自宅または勤務先 への訪問の詳細な記録とそれらの訪問の結果。

EI / ECSEプログラムは、1つのサービスまたはアクティビティへの同意の拒否を使用して、あなたまたはあなたの子供が他のサービス、利益、またはアクティビティを拒否することはできません。

あなたが自己負担で私立幼稚園に子供を登録し、あなたの子供の初期評価またはあなたの子供の再評価に同意しない場合、またはあなたがあなたの同意を提供する要求に応じない場合、ECSEプログラムはその同意上書き手順(すなわち、調停、または公平な適正手続きのヒアリング)を使用することはできず、あなたの子供を公平なサービス (保護者が配置した私立学校に通う障害のある子供たちに提供されるサービス) を受ける資格があると見なす必要はありません。

事前の書面による通知

EI / ECSEプログラムは、次の場合は常に書面による通知(特定の情報を書面で提供)を行う必要があります。

1. あなたの子供の識別、評価、または教育的配置を開始または変更すること、または出生から

3歳までの幼児のための早期介入サービスの提供、または3～5歳の子供のための無料の適切な公教育(FAPE)の提供を提案する。又は

2. 子供の識別、評価、または教育の配置を開始または変更すること、または出生から3歳までの子供のための早期介入サービスの提供、または3～5歳の子供に対するFAPEの提供を拒否する。

プログラムはいつ事前に書面で通知する必要がありますか？

意思決定の必須参加者であることに加えて、あなたには、あなたの子供のEI / ECSEサービスに影響を与える重要な決定について、それらの決定が実施される前の合理的な時間にプログラムに書面で通知させる権利があります。これには次の決定が含まれます。

- あなたの子供を障害のある子供として識別するか、あなたの子供の資格をある障害から別の障害に変更します。
- あなたの子供を評価または再評価します。
- EIの場合、子供に早期介入サービスを提供するか、子供のEIサービスのコンポーネントを変更します。
- ECSEについては、あなたの子供に無料の適切な公教育を提供するか、あなたの子供の無料の適切な公教育の構成要素を変更します。
- あなたの子供のためのIFSPを開発するか、あなたの子供のIFSPを変更します。または、
- 子供をEI / ECSEサービスに配置するか、子供がEI / ECSEサービスを受ける場所を変更します。

また、プログラムがこれらの措置を取るリクエストを拒否した場合、プログラムから事前に書面で通知を受け取る権利もあります。

書面による通知にはどのような情報を含める必要がありますか？

事前の書面による通知には、次のものを含める必要があります：

- プログラムが提案または拒否しているアクション：
- プログラムがアクションを提案または拒否している理由。
- 考慮された他のオプションの説明と、それらのオプションが拒否された理由。
- 提案または拒否されたアクションの基礎として使用される各評価手順、テスト、記録、またはレポートの説明。
- 提案または拒否されたアクションに関連するその他の要因の説明。
- 苦情の申し立て方法の説明とそれらの手順に基づくタイムラインを含む、苦情手続きの声明。
- この手続き上の保護措置に関する通知の小冊子のコピー、またはコピーの入手方法。そし

て、

- これらの手続き上の保護手段を理解するための支援を受けるために連絡するための情報源。

事前の書面による通知は、明らかに実行不可能でない限り、母国語で提供する必要があります。通知は、一般の人々が理解できる言語で書かれている必要があります。

母国語またはその他の通信モードが書き言葉でない場合、プログラムは次のことを確認するための手順を実行する必要があります。

- 通知は、口頭またはその他の手段によってあなたの母国語に翻訳されます。またはその他の通信方法をつかいます。
- あなたは通知の内容を理解している: そして、
- これらの要件が満たされているという書面による証拠がある。

*母国語*は、英語力が限られている個人が使用する場合、次のことを意味します。

1. その人が通常使用する言語、または子供の場合は子供の両親が通常使用する言語。
2. 子どもとの直接的な接触(子どもの評価を含む)において、家庭または学習環境で子どもが通常使用する言語。

難聴や盲目の人、または書き言葉のない人にとって、コミュニケーションのモードは、その人が通常使用するもの(手話、点字、口頭でのコミュニケーションなど)です。

メールで通知の表示をリクエストできますか?

EI / ECSEプログラムで、保護者がメールでドキュメントを受信するという選択肢を提供している場合は、次のものをメールで受信することを選択できます。

1. 事前の書面による通知。
2. 手続き上の保護措置に関するこの通知 と、
3. 適正手続きの聴聞会に関連する通知。

評価と再評価

私の子供がEIサービスを受けている場合、私の子供はECSEサービスの資格を得るために評価される必要がありますか?

はい。子供がEIサービスを受けている場合、子供は3歳になる前にECSEの適格性を評価する必要があります。IFSPチームは、既存の評価データを検討し、子供がECSEサービスを受ける資格があるかどうかを判断するためにさらに情報が必要かどうかを判断する必要があります。

私の子供がECSEサービスを受けている場合、私の子供は学齢期の特殊教育サービスの資格を得るために再評価する必要がありますか?

あなたの子供がECSEによって障害のある子供として識別された場合、あなたの子供は引き続き学齢期の特殊教育サービスを受ける資格があります。学区は、適格性を再検討するために再評価を

行うことができますが、必須ではありません。

IFSPチームは、既存の評価情報を検討し、あなたの子供がこれらのカテゴリーのいずれかの下で特殊教育を受ける資格があるかどうかを判断するために追加情報が必要かどうかを判断する必要があります。

チームがカテゴリー障害を疑わない場合、または子供が引き続き特殊教育を受ける資格があるかどうかを判断するために追加情報が必要ないと判断した場合、公的機関はその決定とその理由を通知する必要があります。あなたはまだあなたの子供が適格であるかどうかを判断するために評価を要求する権利を持っています

公的機関は、あなたがそれを要求しない限り、あなたの子供の評価をする必要はありません。

私の子供がECSEプログラムに参加している場合、私の子供はどのくらいの頻度で再評価されますか？

あなたの子供は、あなたと公的機関が別段の合意をしない限り、年に一度以上再評価することはできません。ECSEおよび学齢期の子どもの場合、何らかの形の再評価、または再評価の検討は、通常3年ごとに行われますがより頻繁に行われることもあります。

独立した教育評価-ECSEのみ

独自の教育評価とは何ですか？

独立した教育評価(IEE)は、あなたの子供を担当する公的機関の従業員ではない資格のある試験官による評価です。公的機関があなたの子供に提供した評価に同意しない場合、あなたは公費で独立した教育評価を受ける権利があります。公費とは、公的機関があなたに無料で評価を提供するように手配しなければならないことを意味します。

あなたは、公的機関があなたが同意しないあなたの子供の評価を実施するたびに、公費であなたの子供の独立した教育評価を1回だけ受ける権利があります。

独立した教育評価の基準は何ですか？

独立した教育評価が公費である場合、評価の場所、審査官の資格、費用など、評価を取得する基準は、公的機関が評価を開始するときに使用する基準と同じでなければなりません(これらの基準が独立した教育評価を受ける権利と一致する範囲で)。

上記の基準を除き、公的機関は、公費で独立した教育評価を取得することに関連する条件または期限を課すことはできません。

公的機関は、要求に応じて、固有の状況が機関の基準を満たさない独立した教育評価を正当化することを示す機会をあなたに提供しなければなりません。

独立した教育評価を求めるにはどうすればよいですか？

独立した評価を要求する場合は、要求について公的機関に明確に通知することが重要です。公的機関は、彼らがあなたの子供に提供した評価に同意しない理由を尋ねるかもしれません。説明を提供することはできますが、必須ではありません。

独立した教育評価を請求するときは、公的機関は遅滞なく、独立した教育評価を受けることができる

場所を通知し、公的機関の独立した教育評価の基準を通知しなければなりません。公的機関のリストにある評価者を使用する必要はありません。

独立した評価、または独立した評価の払い戻しを要求する場合、公的機関は遅滞なくあなたの要求に応じなければなりません。公的機関は、その評価があなたの子供にとって適切であることを示すために適正手続きの聴聞会を要求するか、あなたに無料で独立した評価へのアクセスを確保する必要があります。

公的機関が適正手続きのヒアリングを開始し、最終決定が公的機関の評価が適切であると判断された場合、あなたはあなた自身の費用で独立した教育評価を得ることができます。

独立した教育評価の結果はどうなりますか？

RESOLVING DISAGREEMENTS

子供のEIまたはECSEプログラムに関する意見の相違を解決するにはどうすればよいですか？

子供のEI / ECSEサービスについて懸念がある場合は、最初のステップとして、子供のサービスコーディネーターまたはEI / ECSEプログラム管理者に相談することをお勧めします。懸念が最初に発生したときに対処するのに役立つため、あなた、スタッフ、およびあなたの子供の間の協力関係をサポートするための措置を講じることができます。懸念が解決されない場合は、ODEを通じて調停を依頼するか、苦情を申し立てるか、適正手続きの審理を要求することができます。

メディエーション（調停）とは何ですか？

調停は、あなたとあなたの子供のEI / ECSEプログラムがあなたの懸念について合意に達するのを助けるための特別な種類の会議です。調停は任意、機密、非公式です。あなたまたはプログラム担当者のいずれかが調停をリクエストできますが、調停がスケジュールされる前に、両者が調停を試みることには同意する必要があります。ODEは調停プロセスの費用を負担します。

調停を主導する人は調停人と呼ばれます。調停人とは、困難な問題に関する意見の不一致を解決する際に人々を支援するための戦略の訓練を受けた中立的な人です。調停人は、調停人の客観性と矛盾する個人的または職業的利益を持ってはなりません。あなたとあなたのプログラムが調停を試みることには同意した場合、あなたとプログラムはODEが提供する資格のある調停人のリストから調停人を選択します。メディエーターは、あなた、プログラム、またはODEに雇用されているものではありません。（調停人は、ODEが調停を行うために調停人に支払うという理由だけで、ODEの従業員とは見なされません。

調停は、適正手続きの審理を受ける権利を否定または遅延するため、またはIDEAの下であなたが有するその他の権利を否定するために使用することはできません。

調停の話し合いは機密であり、聴聞会や法廷で証拠として使用することはできません。

調停はいつ利用できますか？

調停はODEを通じて利用でき、あなたとEI / ECSEプログラムは、適正手続きのヒアリング要求の提出前に発生した問題を含む、IDEAに基づく問題に関する意見の不一致を解決できます。調停は、適正手続きの聴聞会を要求したか、特殊教育の苦情を申し立てたかにかかわらず、IDEAに基づく論争を解決するために利用できます。

調停プロセスの各会議は、タイムリーにスケジュールされ、あなたとEI / ECSEプログラムにとって都合の良い場所で開催されなければなりません。

調停を依頼するにはどうすればよいですか？

ODE調停コーディネーター (503)947-5797)に連絡することができます。ODEから入手できる調停申請フォームを使用することもできます。「リソース」をご参照ください。

調停を試みることに同意する必要がありますか？

いいえ。調停は任意です。ODEは調停を奨励していますが、適正手続きの審理や苦情の申し立ての前に調停を試みたり、この小冊子の権利を使用したりする必要はありません。調停について確信が持てない場合、ODEは調停の利点を説明できる中立的な人物と会う機会を提供する場合があります。

調停で合意に達した場合はどうなりますか？

あなたとEI/ECSEプログラムが調停を通じて紛争を解決する場合、両当事者は、解決と以下を記載した法的拘束力のある契約を締結する必要があります。

1. 調停プロセス中に行われたすべての議論は機密のままであり、後の適正手続きの聴聞会または訴訟手続きで証拠として使用されてはならないと述べています。そして、
2. あなたと、プログラムを契約に保持する権限を持つEI / ECSEプログラムの代表者の両方によって署名されています。

書面で署名された調停契約は、州法の下でこの種の事件を審理する権限を持つ州裁判所または連邦地方裁判所で執行可能です。

調停以外に、EI / ECSEの論争を解決するためのオプションは何ですか、またそれらはどのように異なりますか？

IDEA規則には、論争を解決するための他の2つの手順があります:州の苦情(特殊教育の苦情と呼ばれることもあります)と適正手続きの聴聞会です。以下で説明するように、個人または組織は、EI / ECSEプログラム、学区、ODE、またはその他の公的機関によるIDEA要件の違反を主張する州の苦情を申し立てることができます。

特殊教育の苦情とは何ですか？

州の苦情は、EI / ECSEプログラムによるIDEAの違反の可能性を説明する、書面による署名された声明です。その中で、ODEに問題の調査と解決を依頼します。

苦情調査は、ODEによるあなたの懸念の非公式で客観的なレビューです。この調査には費用はかからず、弁護士も必要ありません。

ODEに苦情を申し立てるためのタイムラインは何ですか？

苦情は、ODEに苦情を申し立てる前の12か月以内に違反に関連している必要があります。

苦情には何を含める必要がありますか？

苦情には以下を含める必要があります。

1. EI / ECSEプログラム、学区、またはその他の公的機関がIDEAまたはその規制の要件に違反しているという声明。
2. 声明が基づいている事実。
3. 申立人(申立人または申立人)の署名および連絡先情報。そして、
4. 特定の子供に関する違反を申し立てる場合：
 - (a) 子供の名前と子供の居住地の住所。
 - (b) 子供が参加しているEI / ECSEプログラムの名前。
 - (c) ホームレスの子供または若者の場合、子供の利用可能な連絡先情報と子供が通っている学校またはプログラムの名前。
 - (d) 問題に関連する事実を含む、問題の性質の説明。そして、
 - (e) 苦情が提出された時点で苦情を申し立てた当事者が既知で利用可能な範囲での問題の解決案。

この情報については、ODE苦情フォームを使用できます
<http://www.ode.state.or.us/search/page/?id=1219>.

書面による苦情は、次の宛先に送信されます。

Deputy Superintendent of Public Instruction
Oregon Department of Education
255 Capitol Street NE
Salem, OR 97310

Attention: Student Services

苦情を申し立てる当事者は、当事者がODEに苦情を提出すると同時に、苦情のコピーをEI / ECSEプログラムまたは子供にサービスを提供する他の公的機関に転送する必要があります。

書面による特殊教育の苦情をODEに送った後はどうなりますか？

ODEは直ちにあなたとプログラムに連絡し、調停を含む苦情解決オプションについて話し合います。ODEはまた、調査する可能性のある申し立てを特定します。

苦情を解決するためのODEのタイムラインは何ですか？

この種の書面による苦情を提出する場合、ODEは調査を完了し、60日以内に書面による命令を送信する必要があります。

このタイムラインは、苦情に関連する例外的な状況のために延長される場合があります。親会社とEI/ECSEプログラムが、調停または現地解決を試行する時間を延長することに自発的に合意した場合にも、タイムラインを延長することができます。

このタイムライン内で、ODEは次のことを行う必要があります。

1. ODEが調査が必要であると判断した場合、独立した現地調査を実施する。

2. 申立人に、申立書の申し立てに関する追加情報を口頭または書面で提出する機会を与える。
3. EI / ECSEプログラムまたはその他の公的機関に、少なくとも以下を含む、苦情に対応する機会を提供します:(a)機関の選択により、苦情を解決するための提案。(b)苦情を申し立てた親とエージェンシーが調停を試みることに自発的に同意する機会
4. すべての関連情報を確認し、学区またはその他の公的機関がIDEAの要件に違反しているかどうかについて独立した判断を下します。そして、
5. 苦情の各申し立てに対処する書面による決定を、(a)事実の調査結果と結論とともに発行します。(b)ODEの最終決定の理由。

書面による命令とは何ですか？

書面による命令には、申し立て、結論、議論、および命令された是正措置に関する事実の調査結果が含まれます。

最終的な命令では、あなたやあなたの子供を名前で特定することはできません。最終的なは公開記録です。苦情の最終命令は、州法の下で争われていない事件と見なされます。

最終命令に不満がある場合は、60日以内にMarion County Circuit Courtまたは居住郡のCircuit Court (巡回裁判所)に上訴することができます。

苦情命令は、親が同じ違反について適正手続きの聴聞会を要求することを妨げるものではありません。

是正措置として何を含める必要がありますか？

ODEが適切なサービスの提供の失敗を発見した州の苦情を解決するにあたり、ODEは以下に対処する必要があります。

1. 子どものニーズに対応するのに適切な是正措置を含む、適切なサービスを提供できないこと。そして、
2. すべての障害児に対する適切な将来のサービスの提供。

最終命令には、必要に応じてODEの最終決定を効果的に実施するための手順を含める必要があります。(a) テクニカルアシストのアクティビティ(b) 交渉 そして (c)コンプライアンスを達成するための是正措置。

あなた、またはEI / ECSEプログラムは、あなたの子供の識別、評価、教育の配置の開始または変更の提案または拒否、または出生から3歳までの子供のための早期介入サービスの提供、または3

～5歳の子供のための無料の適切な公教育(FAPE)に関連する問題について、適正手続きの聴聞請求を提出することができます。

ODEスタッフは、タイムラインが適切に延長されない限り、州の苦情を解決し、60暦日のタイムライン内に最終命令を出す必要があります。

公平な適正手続審問官(行政法裁判官またはALJと呼ばれる)は、ALJがあなたの要請またはプログラムの要請によりタイムラインの特定の延長を許可しない限り、解決期間の終了後45暦日以内に適正手続聴聞会を実施し(解決会議または調停を通じて解決されない場合)、書面による決定を発行する必要があります。

苦情を申し立てると同時に適正手続きの審理を依頼した場合はどうなりますか？

適正手続きの審理請求の対象でもある書面による州の苦情が受領された場合、または苦情に複数の問題があり、そのうちの1つ以上が聴聞請求の一部である場合、ODEは、聴聞会が終了するまで、苦情、または適正手続きの聴聞会で対処されている苦情の一部を脇に置いておく必要があります。適正手続きの審理の一部ではない苦情の問題は、上記の期限と手順を使用して解決する必要があります。

苦情で提起された問題が、同じ当事者(親と学区)が関与する適正手続きの聴聞会で以前に決定された場合、適正手続きの審理の決定はその問題について拘束力があり、ODEは決定が拘束力があることを申立人に通知する必要があります。

EI / ECSEプログラム、学区、またはその他の公的機関が適正手続きの聴聞決定を実施しなかったと主張する苦情は、ODEによって解決されなければなりません。

適正手続きのヒアリングとは何ですか？

適正手続きの審理は、事実と法律の問題を決定する行政法裁判官(ALJ)の前での正式な法的手続きです。ALJは、書面による最終的な拘束力のある意見を発行します。

適正手続きの審理はいつ依頼できますか？

子供のEIサービスに関連する識別、評価、配置、またはその他の側面、およびECSEの場合は無料の適切な公教育に同意しない場合は、適正手続きの聴聞会を要求することができます。懲罰セクションに記載されているように、「迅速な」適正手続きの聴聞会を求めることができます。

適正手続きの審理を求めるためのタイムラインは何ですか？

適正手続きの聴聞会は、聴聞会の要求を引き起こした作為または不作為について知っていた、または知っていたはずの日から2年以内にリクエストする必要があります。

この2年間のタイムラインは、次の理由でヒアリングをリクエストできなかった場合には適用されません。

- EI/ECSE プログラムが、問題を解決したと誤って伝えた。または、
- EI/ECSE プログラムが、プログラムが提供する必要のある情報を提供しなかった。

適正手続きのヒアリングをリクエストするにはどうすればよいですか？

あなた(またはあなたが代表されている場合はあなたの弁護士)またはEI / ECSEプログラム(またはプログラムの弁護士)は、ODEおよび相手方に聴聞会の書面によるリクエストを送信する必要があります。ヒアリングリクエストには以下を含める必要があります。

- あなたの名前と住所(または住所がない場合は連絡先情報)および子供のEI / ECSEプログラムの名前。
- 特定の事実を含む、ヒアリング要求に関連する問題の性質の説明。そして、
- 意見の不一致を解決するための提案。

適正手続きのヒアリングをリクエストするためのモデルフォームは、ODEから入手できます。(小冊子の最後にある「リソース」を参照してください)。ODEのモデルフォームデュープロセスヒアリングリクエストを提出するために必要な情報が含まれている限り別の適切なフォームまたはドキュメントを使用できます。

あなた、またはEIECSEプログラムは、あなたまたはEI / ECSEプログラム(またはあなたの弁護士またはEI / ECSEプログラムの弁護士)がこの情報を含む適正手続きの聴聞会要求を提出するまで、適正手続きの聴聞会を行うことはできません。

IDEAのパートBに基づく連邦規制の手続き上の保護措置のセクション[34 CFR 300.500から300.536]には、すでに提出された適正手続きの聴聞請求とは別の問題について、別の適正手続きの聴聞請求を提出することを妨げるものはありません。

公的機関はいつ適正手続きの聴聞会を求められますか？

ECSEの場合:公的機関は、親が初期評価または再評価の同意を拒否した場合、またはECSEの場合、公的機関が適切な評価を実施したか、無料の適切な公教育を提供したことを証明するために、適正手続きの聴聞会をリクエストすることができます。公的機関は、ECSEへの最初の配置またはEIサービスに対する両親の同意の拒否を無効にするための適正手続きの聴聞会をリクエストすることはできません。

適正手続きのヒアリングがリクエストされた後はどうなりますか？

あなたが聴聞会を請求すると、ODEは本手続的保護措置の通知のコピーを送付し、調停が無料で利用できることを通知し、無料または低コストの法的サービスについてアドバイスします。行政審問局は、聴聞会を実施するALJを任命します。ALJは、ヒアリング前の会議を設定するためにあなたに連絡します。

EI/ECSEプログラムがヒアリング要求を提出した場合、この要求を受け取ってから15日以内に、この通知に関する問題をALJに通知することができます。同様に、聴聞会を申請した場合、プログラムは15日以内にALJに通知します。

ALJは、通知が規則に従っているかどうかを決定するために5日間の猶予がありこの決定を直ちに書面であなたとプログラムに通知する必要があります。

次の場合は、別のリクエストを送信することで、ヒアリングリクエストの問題を修正できます。

- EI / ECSEは書面で同意した。または、
- ALJは同意し、公聴会の5日以上前である。

ヒアリングの別のリクエストを送信すると、適正手続きのヒアリングを完了するためのタイムラインが再開されます。

審理を要求する当事者は、他方当事者が別段の合意をしない限り、聴聞請求に記載されていない問題を聴聞会で提起することはできません。

EI / ECSEプログラムが、ヒアリングリクエストの問題に関連するEI / ECSEアクションの書面による通知をまだ提供していない場合、EI / ECSEプログラムは、ヒアリングリクエストを受け取ってから10日以内にこの通知を送信します。

1. EI/ECSEプログラムが適正手続きの苦情で提起された措置を取ることを提案または拒否した理由の説明。

2. 子供の個別家族サービスプラン(IFSP)チームが検討した他のオプションの説明と、それらのオプションが拒否された理由。
3. 提案または拒否されたアクションの基礎として使用されたEI / ECSEプログラムの各評価手順、評価、記録、または報告の説明。そして、
4. EI/ECSE プログラムの提案または拒否されたアクションに関連するその他の要因の説明。

上記の項目1～4の情報を提供しても、EI / ECSEプログラムが適正手続きのヒアリング要求が不十分であったことを述べることを妨げるものではありません。それ以外の場合、プログラムはヒアリングリクエストを受け取ってから10日以内に、ヒアリングリクエストの問題に具体的に対処する応答を送信します。

あなたと他のIEPチームメンバーは、ヒアリング要求から15日以内に「解決セッション」のために会合をする必要があります。

解決セッションとは

解決セッションは、子供のEI / ECSEプログラムに関する問題を解決するための会議です。会議には、あなた、問題を知っているIFSPチームのメンバー、およびプログラムの決定を行う権限を持つEI / ECSE代表者を含める必要があります。あなたが弁護士を同伴しない限り、プログラムには弁護士が同席しない場合があります。あなたとプログラムがこの会議を放棄することに書面で同意するか、あなたとプログラムが代わりに調停を試みることに同意しない限り、解決セッションが必要です。

あなたとプログラムが解決セッションで合意に達した場合、あなたとプログラムは、到達したすべての合意をリストした書面による合意に署名します。調停契約と同様に、この契約は法的拘束力があり、法廷で強制力があります。あなた、またはプログラムは、署名から3営業日以内に書面による声明を相手方に送付することにより、本契約をキャンセルすることができます。

ヒアリングのタイムラインは何ですか？

解決期間内に問題が解決されない場合は、適正手続きのヒアリングのタイムラインが開始されます。ヒアリングと最終命令は、解決期間の終了から45日以内に完了する必要があります。ALJは、ユーザーまたはプログラムがより多くの時間を要求する場合、より多くの時間を許可する場合があります。

30日間の解決期間はどのような状況で短縮または延長できますか？

あなたとEI/ECSEプログラムの両方が解決プロセスを放棄するか、調停を使用することに同意した場合を除き、解決会議に参加しなかった場合、解決会議への参加に同意するまで、解決プロセス

と適正手続きのヒアリングのタイムラインが遅れます。

合理的な努力をし、そのような努力を文書化した後、EI/ECSEプログラムが解決会議へのあなたの参加を得ることができない場合、EI/ECSEプログラムは、30暦日の解決期間の終わりに、ALJが適正手続きの聴聞会あなたの要求を却下するよう要求することができます。学区の取り組みの文書には、次のような相互に合意した時間と場所を手配する試みの記録を含める必要があります。

1. 発信または試行された電話の詳細な記録とそれらの通話の結果。

2. あなたに送信された通信のコピーと受け取った応答。そして、
3. あなたの家または職場への訪問の詳細な記録と それらの訪問の結果。

EI/ECSEプログラムが適正手続聴聞請求の通知を受け取ってから15暦日以内に決議会議を開催しない場合、または解決会議に参加しない場合、あなたはALJに45暦日の適正手続聴聞会のタイムラインの開始を命じるように依頼することができます。

あなたとEI / ECSEプログラムが決議会議を放棄することに書面で合意した場合、適正手続きの聴聞会の45暦日のタイムラインは翌日に始まります。

調停または解決会議の開始後、30暦日の解決期間が終了する前に、あなたとEI / ECSEプログラムが合意不可能であると書面で合意した場合、適正手続きの審理の45暦日のタイムラインは翌日に開始されます。

あなたとEI/ECSEプログラムが調停を試みることに同意した場合、30暦日の解決期間の終了時に、両当事者は合意に達するまで調停プロセスを継続することに書面で合意することができます。ただし、あなたまたはEI / ECSEプログラムのいずれかが調停プロセスから撤退した場合、適正手続きのヒアリングの45暦日のタイムラインは翌日に開始されます。

ALJの資格は何ですか？

少なくとも、ALJは、：

1. ODEまたはEI/ECSEプログラムの従業員であってはならず、子供の教育またはケアに関与している。ある人がODEの従業員ではないのは、その人がALJとして働くためにODEから報酬を得ているからである。
2. 聴聞会におけるALJの客観性と矛盾する個人的または職業的利益を有してはなりません。
3. IDEAの規定、IDEAに関連する連邦および州の規制、および連邦裁判所および州裁判所によるIDEAの法的解釈に精通し理解している必要があります。そして、
4. ヒアリングを実施し、適切で標準的な法的慣行と一致する決定を下し、書述するための知識と能力を持っている必要があります。

ODEは、ALJを務める人物のリストと、それぞれの資格の声明を保持しています。

私のヒアリングの権利は何ですか？

適正手続きの聴聞権には以下が含まれます。

- あなたにアドバイスを与えることができる弁護士を同伴する権利。
- 障害のある子どもに関する特別な知識又は訓練を受けた者を一又は二人以上の者を同伴する権利
- 以下の場合を除き、審理および上訴の過程で子供を現在のEI / ECSE配置にとどらせる権利。

- あなたとプログラムは別の配置に同意する。
 - あなたの子供はプログラムへの初期の入学を申請しており、あなたはあなたの子供のプログラムへの配置に同意している。
 - あなたの子供は停学または退学させられ、子供の障害の兆候ではない行動に相応しい暫定的な代替教育環境に置かれている。
 - あなたの子供は、武器や薬物違反、または他の人に重傷を負わせたために、プログラムから、除外され、によって最大45日間の暫定配置に移された。または、
 - あなたの子供は、有害な行動を起こす大きな可能性があるため、最大45日間、ALJによって暫定的な配置に移された。
- 書面および口頭での証拠を提示し、証人と対峙し、反対尋問し、証人の立ち会いを要求する権利。
 - 聴聞会の少なくとも5営業日前に、その日までに学区またはプログラムによって完了した評価と、公聴会で使用する予定の評価に基づく推奨事項について通知を受ける権利。
 - あなたの子供を公聴会に出席させる権利。
 - 公聴会を非公開または一般に公開する権利。
 - 聴聞会の少なくとも5営業日前にあなたに開示されていない証拠の聴聞会での提出を禁止する権利。ALJは、相手方の同意なしに、聴聞会の5営業日前に開示されていない証拠の提出を禁止することができます。
 - 聴聞会の終了から合理的な時間内に、書面またはお客様の選択により、聴聞会の電子逐語的記録を無料で受け取る権利。そして、
 - 書面またはあなたの選択により、聴聞会の決定の電子コピーを無料で受け取る権利。

各聴聞会は、あなたとあなたの子供にとって合理的に都合の良い時間と場所で行われなければなりません。

ALJの決定の根拠は何ですか？

あなたの子供が無料の適切な公教育(FAPE)を受けたかどうかに関するALJの決定は、実質的な根拠に基づいている必要があります。手続き上の違反を申し立てる問題では、ALJは、手続き上の不備がある場合にのみ、あなたの子供がFAPEを受け取らなかったと判断する場合があります。

1. 無料の適切な公教育(FAPE)を保持する子供の権利を妨害した。
2. あなたの子供への無料の適切な公教育(FAPE)の提供に関する意思決定プロセスに参加するあなたの機会を著しく妨げた。または、
3. 教育給付の剥奪を引き起こした。

この規則は、ALJがIDEA(34 CFR 300.500から300.536)(OAR 581-015-2300から2385)の手続き上の保護措置セクションの要件に準拠するようにEI/ECSEプログラムを注文することを妨げるものではありません。

ECSEの特別ルール:

IDEA のパートBのいかなる規定もアメリカ憲法、U.S. Constitution, the 1990年の障害を持つアメリカ人法、(Americans with Disabilities Act of 1990) , リハビリテーション法タイトルVの (セクション504) (Title V of the Rehabilitation Act of 1973 (Section 504), あるいは、その他の障害のある子どもの権利を守る連邦法の下で利用可能な権利、手続き、及び救済を制限または限度の制限をするものではありません。上記の適正手続きは当事者がIDEAのパートBに基づいて訴訟を起こした場合に必要となるのと同じ程度に尽くされなければなりません。

つまり、IDEAの下で利用可能な救済策と重複する他の法律の下で利用可能な救済策があるかもしれませんが、一般に、それらの他の法律の下で救済を得るには、直接法廷に行く前に、まずIDEAの下で利用可能な行政救済策(すなわち、適正手続きの苦情、解決会議、および公平な適正手続きの審理手続き)を使用する必要があります。

最終的な命令は、州の (State Interagency Coordinating Council and the State Advisory Council for Special Education) 省庁間調整評議会と特殊教育のための州諮問委員会に与えられます。最終的な注文では、あなたやあなたの子供を名前で特定することはできません。それは公の記録です。

審理の決定に同意できない場合はどうすればよいですか?

審理の決定は、敗訴した当事者が最終命令から90日以内に法廷で民事訴訟を起こすことができることを除いて、最終的なものです。連邦裁判所または州裁判所に民事訴訟を起こす場合、裁判所は次のことを行う必要があります。

- 公聴会の記録を受け取る。
- 当事者の要求に応じて追加の証拠を聞く。
- 証拠の優位性の決定に基づいて決定する。そして
- 裁判所が適切と判断する救済を与える。

裁判所はいつ弁護士費用の払い戻しを命じることができますか?(ECSEのみ)

裁判所は、適正手続きの審理で勝訴した場合、ODEに合理的な弁護士費用の払い戻しを要求する場合があります。

裁判所は、あなたの主張が「軽薄、不合理、または根拠がない」場合、EI / ECSEプログラムの弁護士に支払うように弁護士に要求する場合があります。裁判所は、あなたの請求が嫌がらせなどの「不適切な目的」で提示された場合、または理由なく訴訟の費用を遅延または増加させるために、あなた、またはあなたの弁護士にプログラムの弁護士への支払いを要求する場合があります。

裁判所は合理的な弁護士費用をどのように決定しますか？

裁判所は、次のように合理的な弁護士費用を授与します。

1. 料金は、提供されたサービスの種類と質に対して、訴訟または聴聞が行われたコミュニティで一般的な料金に基づいている必要があります。付与される料金の計算にボーナスまたはマルチプライヤーを使用することはできません。

2. 以下の場合、書面による和解の申し出後に実行されたサービスについて、IDEAのパートBに基づく訴訟または手続きにおいて、手数料は授与されず、関連する費用は払い戻されない場合があります。
 - a) 申し出は、Rule 68 of Federal Rules of Civil Procedure、連邦民事訴訟規則の規則68で規定された期間内、または適正手続きの審理の場合は、手続きが始まる10暦日以上前に行われた。
 - b) オファーが10暦日以内に受け入れられなかった。そして、
 - c) 裁判所は、あなたが最終的に得た救済は、和解の申し出よりもあなたにとって有利ではないと判断した。
3. これらの制限にもかかわらず、あなたが勝訴し、和解の申し出を拒否することが実質的に正当化された場合、弁護士費用および関連費用の裁定があなたに行われる可能性があります。
4. IFSPのミーティングは、行政手続きまたは訴訟の結果としてミーティングが開催されない限り、手数料は授与されません。調停のために手数料が支払われない場合があります。

決議会議は、行政審問または訴訟の結果として招集された会議とは見なされず、また、これらの弁護士費用の規定の目的上、行政聴聞会または訴訟とは見なされません。

裁判所は、必要に応じて、IDEAのパートBに基づいて裁定される弁護士費用の額を減額します。

1. あなた、またはあなたの弁護士は、訴訟または手続きの過程で、論争の最終解決を不当に遅らせた。
2. 他の方法で授与されることを許可された弁護士費用の額は、合理的に類似したスキル、評判、および経験を持つ弁護士による同様のサービスに対してコミュニティで一般的な時給を不当に超えている。
3. 費やされた時間と提供された法的サービスは、訴訟または手続きの性質を考慮すると過度であった。または、
4. あなたを代表する弁護士は、適正手続きのヒアリング要求でEI / ECSEプログラムに適切な情報を提供しなかった。

ただし、公的機関が訴訟または手続きの最終解決を不当に遅らせた、またはIDEAのパートBの手続き上の保護措置条項に基づく違反があったと裁判所が判断した場合、裁判所は手数料を減額することはできません。

私立学校に登校している子供たち- ECSE のみ

両親の選択によって私立学校に在籍している子供は、特殊教育サービスを利用できますか？

はい、一般的にはそうですが、必ずしもすべての子供にはありません。両親による選択で私立学校に在籍している子供は、公的資金による特殊教育および関連サービスに参加することができます。連邦法は、ECSEプログラムがこれらのサービスに費やされる公的資金を制限することを認めています。子供がこの規定に基づいて特殊教育サービスを受ける場合、プログラムはあなたと面会し、子供に提供されるサービスを説明するサービスプランを作成します。サービスは私立学校またはEI / ECSEプログラムでオンサイトで提供される場合があります。サービスがEI / ECSEプログラムで提供される場合、公的機関は子供がこれらのサービスにアクセスするための交通手段を提供しなければなりません。

プログラムはいつ私立学校の授業料を保護者に払い戻す必要がありますか？

ECSEプログラムは、障害のある子どもが無料で適切な公教育を利用できるようにしたのにもかかわらず、親が代わりに子どもを私立学校または施設に配置することを選択した場合、私立学校または施設における障害児の教育費(幼児特殊教育および関連サービスを含む)を支払う必要はありません。

裁判所またはALJは、以下の場合に限り、ECSEプログラムに対し、プログラムの同意または紹介なしに行われた私立学校の配置の費用を保護者に払い戻すよう要求することができます。

- 子供が私立学校に入学する前にEI / ECSEプログラムの権限の下でECSEサービスを受けた。
- 裁判所またはALJは、その時点で、プログラムが無料で適切な公教育を子どもが適時に利用できるようにしていなかったと判断した。そして、
- 私立学校への入学配置が適切である。

ALJまたは裁判所は、配置がEI / ECSEプログラムの州の基準を満たしていない場合でも、親が選択した配置が適切であると判断する場合があります。

裁判所はいつ両親への払い戻しを減額または拒否をできますか？ ご注意

:

裁判所またはALJは、両親がECSEプログラムによって提案された配置を拒否していることをECSE

プログラムに通知せず、懸念と公費で私立学校に子供を入学させる意向を述べなかった場合、償還を減額または拒否することができます。この通知は、次のいずれかを行う必要があります。

- ECSEの配置から子供を削除する前に両親が出席した最新のIFSP会議で; または、
- ECSEの配置から子供を削除する少なくとも10営業日前にECSEプログラムに書面で。

裁判所またはALJは、次の場合に親がこの通知を行わない場合、払い戻しを減額または拒否してはなりません。

- 通知を行うと、子供に身体的危害が加えられる可能性がある。
- EI / ECSEプログラムは、親が通知することを妨げた。 または、
- 親は、この手続き上の保護措置の通知のコピーを受け取っていなかったか、さもなければ、この通知要件について知らされていた。

裁判所またはALJは、次の場合に親がこの通知を行わない場合、払い戻しを減額または拒否することはできません。

- 親は読み書きができないか、英語で書くことができない。 または、
- 通知を与えることは、子供に深刻な精神的危害をもたらす可能性がある。

評価: 裁判所またはALJは、親が公的機関による評価のために子供を利用できるようにしない場合、次の場合に払い戻しを減額または拒否することができます。

- 公的機関は、子どもを評価または再評価する意図を事前に書面で通知した。
- この通知に記載されている評価の目的は適切かつ合理的であった。そして、
- 公的機関は、子供が ECSEの配置から削除される前に、親にこの通知を与えた。

不合理: また、親の行動が不合理であった、または私立プログラムの費用が不合理であると司法が判断した場合、払い戻しが減額または拒否される場合があります。

暫定的な代替教育環境における規律と配置- ECSE のみ

連邦法は、EI / ECSEプログラムを念頭に置いて書かれていなくても、学校の規律と代替環境に配置するための手順に関連する手続き上の保護手段について保護者に通知することを義務付けています。

子供はECSEプログラムから停学処分にされることがありますか？

はい。ECSEプログラムは、障害のない子どもがその行動を理由に停学される場合、懲戒上の理由により、障害のある子どもを現在の教育施設から最長10日間連続して停学にすることができます。プログラムは、障害のない子どもと同程度に、停学、子どもを適切な暫定的な代替教育環境に移すこと、または子どもを別の環境に置くことを含む短期間の退学を使用することがあります。

子供は学年に10日以上以上の停学を受けることができますか？

場合によります。停学に「パターン」がない場合、子供はECSEプログラムから最大10日間連続して停止される可能性があります。「パターン」は、次の場合に存在します。

- 子供の行動は、この一連の除去をもたらした以前の事件における子供の行動と実質的に(ほとんどの場合)類似している。そして、
- 各停学期間、子供が学校を休んでいる合計時間、停学が互いにどれだけ近いかなどの他の要因は、パターンを示しています。一連の削除がパターンを構成するかどうかは、EI / ECSEプログラムによってケースバイケースで決定され、異議が申し立てられた場合、適正手続きと司法手続きを通じてレビューの対象となります。

停学に「パターン」がある場合、プログラムは、子どものIFSPチームが子どもの行動が子どもの障害

の「現れ」ではないと判断した場合にのみ、子どもを停学にすることができます。

「パターン」がない場合、EI/ECSEの職員は、子どもの教師の少なくとも1人と協議して、子どもが撤去中にIFSPの目標に向かって前進し続けるために必要なサービスを決定します。

子どものIFSPチームが、子どもの行動が障害の「症状」ではないと判断した場合、子どもは10日以上連続して連れ去られることがあります(通常は「退学」と呼ばれます)。

子供が学年に10日以上停学または退学処分を受けた場合でも、プログラムは子供にECSEサービスを提供する必要がありますか？

はい。退去後10日間は、子どもが年齢に応じた活動に引き続き参加し、子どものIFSP目標に向かって前進するために必要なサービスを子どもに提供する必要があります。これらのサービスは、「暫定代替教育環境」と呼ばれる別の場所で提供される場合があります。

IFSPチームは、子どもが停学または退学でなくても、子どもを別の学校やプログラムに移すことを決定することができますか？

はい。両親は、この決定を下すIFSPチームの一員です。決定は、子供のIFSPと子供が学校で成功するために必要なものに基づいている必要があります。他の要因とともに、子供のIFSPチームは、子供の行動が教師や他の子供に与える影響を検討することができます。

プログラムは親に懲罰処分の通知をしなければなりませんか？

はい、プログラムは、アクションを実行する決定が下された日までに親に通知し、この手続き上の保護措置の通知を親に提供する必要があります。

IFSPチームは、行動が子供の障害の「現れ」であるかどうかをどのように判断しますか？

親を含むIFSPチームは、検査結果、親からの情報、子供の観察、子供のIFSPと配置など、子供に関するすべての関連情報を調べます。

子どものIFSPチームは、以下の場合、子どもの行動が子どもの障害の現れであると判断することができます。

- 行動は子供の障害によって引き起こされたか、直接関連していた。または、
- この行動は、プログラムが子供のIFSPを実装しなかったことの直接の結果であった。

この決定は、生徒の行動規範に違反したために障害のある子供の配置を変更する決定から10学日以内に行わなければなりません。

IFSPチームが、子供の行動が子供の障害の「現れ」と判断した場合はどうなりますか？

IFSPチームが、その行動が子どもの障害の現れであると結論付けた場合、プログラムは、子どもを退学させたり、10日以上連続して、または除去が「パターン」である場合は学年度の10日以上の授業日にわたって停学させたりすることはできません。

プログラムと親は、情報を検討するためにIFSPミーティングを開催することができ、IFSPチームは、子供のIFSPサービスおよび/または配置を変更することができる。IFSPチームが、問題の行為がIFSPを実施しないプログラムの直接の結果であると判断した場合、プログラムは欠陥を是正するために直ちに行動を起こさなければなりません。

IFSPチームは、子どもの行動の評価(「機能的行動評価」と呼ばれる)を完了し、子どものための行動介入計画を策定しなければならない。子どもがすでに行動介入計画を持っている場合、IFSPチームは、行動に対処するために、必要に応じて計画を検討し、変更しなければなりません。

特別な状況で説明されている場合を除き、EI / ECSEプログラムは、親とプログラムが行動プログラム介入計画の変更の一環として配置の変更に同意しない限り、子供を子供が削除された配置に戻す必要があります。

IFSPチームが、子供の行動が子供の障害の現れではないと判断した場合はどうなりますか？

IFSPチームが、その行動が子どもの障害の現れではないと結論付けた場合:

- プログラムは、障害のない子供の場合と同じ方法で、退学などの懲戒処分を行うことができます。
- プログラムは、追放聴聞会が必要な場合、子供の特殊教育および懲戒記録が追放聴聞官に提供されることを確認する必要があります。
- プログラムは、IFSPチームが決定する暫定的な代替教育環境で提供される可能性のある、子どもの個々のニーズと一致する無料の適切な公教育を子どもに提供し続ける必要があります。そして、
- 必要に応じて、プログラムは、子どもに機能的行動評価、ならびに行動介入サービスおよび子どもの行動に対処するための修正を提供しなければならない。

特別な状況: EI / ECSEの担当者は、規律に関連する配置の変更が、学校の生徒の行動規範に違反する障害のある子供に適しているかどうかを判断する際に、ケースバイケースで固有の状況を考慮することができます。

プログラムはいつすぐに子供を別の学校やプログラムへ移すことができますか？

行動が子どもの障害の現れであるかどうかにかかわらず、EI / ECSE職員は、以下の特別な状況下で、最大45授業日間、子どもを暫定的な代替教育環境(子どものIFSPチームによって決定)に移動させることができます。

- 子供はEI / ECSEプログラムまたはEI / ECSEの催し事に武器を携帯するか、学校で武器を所持している。

- EI / ECSEプログラムまたはEI / ECSEの催し事などにおいて、子供が故意に違法薬物を所持または使用したり、規制物質の販売や勧誘をしたりした場合。または、
- 子供が、EI / ECSEプログラム、EI / ECSEプログラムの敷地内、またはEI / ECSE機能にいる間に、他の人に重大な身体的傷害を引き起こした。

親またはプログラムは、懲罰についての論争を解決するためにいつ迅速な聴聞会を受けることができますか？

IFSPチームの顕在化の決定または子供の配置に関する決定に同意しない親は、適正手続きの聴聞会を請求することができます。プログラムは、子供の現在の配置を維持することが子供または他の人に傷害をもたらす可能性が非常に高いとプログラムが判断した場合、聴聞会を請求することができます。

EI / ECSEプログラムは、次の場合に、一度に最大45日間、子供を暫定的な代替教育環境に移すための迅速な聴聞会を要求する場合があります。

- 子供が現在の配置では、子供または他人に傷害を引き起こす可能性がかなり高い。
- プログラムは、現在の配置での危害のリスクを最小限に抑えるために合理的な努力を払った。そして、
- 暫定代替教育環境は、以下の要件を満たしている。

迅速な適正手続きの審理にはどのような手続きが適用されますか？

親またはEI / ECSEプログラムが適正手続きの聴聞会を請求するときはいつでも、次の場合を除き、通常の適正手続きの聴聞会の要件を満たす聴聞会を開催する必要があります。

1. ODEは、聴聞会が要求された日から**20**学日以内に行われなければならない、聴聞会后**10**学日以内に書面による決定を下さなければならない迅速な適正手続き聴聞会を手配しなければなりません。
2. 両親とEI / ECSEプログラムが会議を放棄することに書面で同意するか、調停を使用することに同意しない限り、解決会議は適正手続きの苦情の通知を受け取ってから**7**暦日以内に行われなければならない。審理は、適正手続きの苦情を受け取ってから**15**暦日以内に両当事者が満足するように問題が解決されない限り、続行することができます。

当事者は、他の適正手続審理の決定と同様に、迅速な適正手続聴聞会において決定に対して上訴することができる。

公平なALJは、適正手続きのヒアリングを実施し、決定を下さなければなりません。ALJは以下を行うことができます。

1. ALJが子供の除去がこれらの要件の違反であった、または子どもの行動が子どもの障害の現れであると判断した場合、障害のある子どもを除去された元の配置に戻すこと。
または、
2. ALJがもし子どもの現在の配置を維持することは、子どもまたは他人に傷害をもたらす可能性が非常に高いと判断した場合、障害のある子供の適切な暫定代替教育環境への配置の変更を45学校日以内に命じる。

EI/ECSEプログラムが、子どもを元の配置に戻すことが子どもまたは他人に傷害をもたらす可能性が非常に高いと判断した場合、これらのヒアリング手順を繰り返すことができます。

親またはEI/ECSEプログラムが懲罰事項に関連する適正手続きの聴聞請求を提出した場合、子供は(親とEI/ECSEプログラムが別段の合意をしない限り)行政法裁判官の決定を待つ間、またはこれらの要件に規定されている退学期間の満了まで、暫定的な代替教育環境に留まらなければなりません。

暫定的な代替教育環境の要件は何ですか？

暫定的な代替教育環境は、次のことを行う必要があります。

- 異なる設定ではあるが、子供が年齢に適した活動に引き続き参加できるようにする。
- 子どもがIFSPの目標を達成できるようにするため、子どもがECSEのサービスおよび修正(子どものIFSPに記載されているものを含む)を引き続き受けられるようにすること。そして、
- 必要に応じて、機能的行動評価、行動介入サービス、および子どもの行動に対処するための修正を提供して、それが継続しないようにする。

リソース

ここにリストされている公的資金による組織は、IDEAの手続き上の保護措置およびその他の規定を理解するのに役立つ場合があります。

お住まいの地域のEI/ECSEプ

ログラム

あなたのEI/ECSE

コントラクター

Oregon Department of Education (ODE)

Salem: (503) 947-5782

ウェブサイト: <http://www.oregon.gov/ODE/Pages/default.aspx>

Office of Student Services

ウェブサイト: <http://www.oregon.gov/ode/about-us/Pages/Office-of-Student-Services.aspx>

Family and Community Together (FACT)

トールフリー: (888) 988-3228

ウェブサイト: www.factoregon.org

Disability Rights Oregon (DRO)

Portland エリア: (503) 243-2081

トールフリー: (800) 452-1694

ウェブサイト: <http://www.disabilityrightsoregon.org/>

Center for Parent Information & Resources

<http://www.parentcenterhub.org/>

州省庁間調整評議会(SICC)は、特別なニーズを持つ幼児とその家族のための州全体のサービスシステムにアドバイスとサポートを提供します。

評議会に関する情報とその会議のスケジュールは、(503)947-5731にお電話しODEから入手できま

す。SICCに関する情報は、以下で入手できます。<http://www.oregon.gov/ode/students-and-family/SpecialEducation/earlyintervention/Pages/sicc.aspx>

特殊教育のための州諮問委員会(SACSE)は、毎年数回会合を開きます。各会議には、パブリックコメントの時間が含まれています。委員会に関する情報とその会議のスケジュールは、(503)947-5782にお電話しODEから入手できます。SACSEに関する情報は、次のURLで入手できます。:
<http://www.oregon.gov/ode/students-and-family/SpecialEducation/Pages/sacse.aspx>